

米国 小売売上高(12年6月)

発表日：2012年7月16日(月)

～先行き不安の高まりによる消費者マインドの悪化を受け全般的に弱含み～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

6月小売・飲食サービス売上高は前月比▲0.5%と3か月連続の減少

6月の小売・飲食サービス売上高は、耐久財、建設資材、ガソリンなどの減少により前月比▲0.5%（前月▲0.2%）と減少幅を拡大し、3ヶ月連続の減少となった。市場予想の同+0.2%の増加に反し減少したうえ、4、5月合計で0.3%下方修正された。比較的価格の安い車種の販売増加により自動車が増加したほか、建設資材が今冬の温暖な天候によって押し上げられた反動、ガソリン販売が価格下落で縮小した。

業態別では、食品・飲料、その他小売りが増加に転じた一方、衣料品、通信販売が減速し、自動車・同部品、家具、家電、スポーツ用品・本・趣味用品が減少に転じた。さらに、薬局が減少幅を拡大したほか、建設資材、百貨店など一般小売、ガソリンスタンド、飲食店の減少が持続した。財別でみると、耐久財販売が家電、自動車などの減少により縮小に転じたうえ、非耐久財が衣料品、ガソリン販売などの縮小を受け減少幅を拡大した。

変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は、前月比▲0.4%（前月同▲0.4%）と、3ヶ月連続の減少となった。市場予想中間値の同0.0%に反し減少したうえ、4、5月合計で0.3%下方修正された。ガソリン、建設資材、百貨店などの減少が影響した。

一方、小売売上高の基調を示すコア小売売上高（自動車・ガソリン・建材を除く小売・飲食サービス売上高）は前月比▲0.1%（前月同+0.0%）と減少に転じた。1、2、3月に良好な天候、早いイースター休暇などによって高い伸びとなった反動のほか、景気の先行きを懸念した消費者マインドの悪化により、鈍化した。

小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

	小売・飲食サービス売上高		耐久財関連 (*1)				非耐久財関連 (*2)			
			除く車	自動車	家具	家電	衣料品	ガソリン		
11/09	+1.2	(+8.5)	+0.5	+2.8	+4.3	+1.2	▲0.3	+0.4	+1.9	+0.5
11/10	+0.9	(+8.0)	+0.8	+1.8	+1.5	+0.0	+5.1	+0.5	▲1.2	▲0.0
11/11	+0.5	(+7.5)	+0.4	+0.5	+1.0	+0.6	▲0.3	+0.5	+1.0	+1.1
11/12	+0.0	(+6.8)	▲0.3	+1.5	+1.8	+2.1	▲4.6	▲0.7	+0.9	▲2.2
12/01	+0.6	(+6.6)	+1.1	▲0.3	▲1.3	+2.2	+0.6	+1.0	+0.2	+1.5
12/02	+1.0	(+6.8)	+1.0	+0.8	+1.3	▲0.6	+0.2	+1.2	+2.5	+3.3
12/03	+0.4	(+6.3)	+0.5	+0.3	▲0.1	+0.2	+0.0	+0.3	▲0.4	+0.4
12/04	▲0.5	(+5.3)	▲0.6	▲1.0	▲0.2	▲0.3	▲1.9	▲0.5	▲1.5	▲1.7
12/05	▲0.2	(+5.1)	▲0.4	+0.2	+0.8	+1.3	+0.7	▲0.3	+0.8	▲2.0
12/06	▲0.5	(+3.8)	▲0.4	▲0.9	▲0.6	▲0.8	▲0.8	▲0.4	+0.2	▲1.8

(出所) 商務省 (Department of Commerce)

(注) 数字は季調済前月比。但し、()内は前年同月比(未季調)。

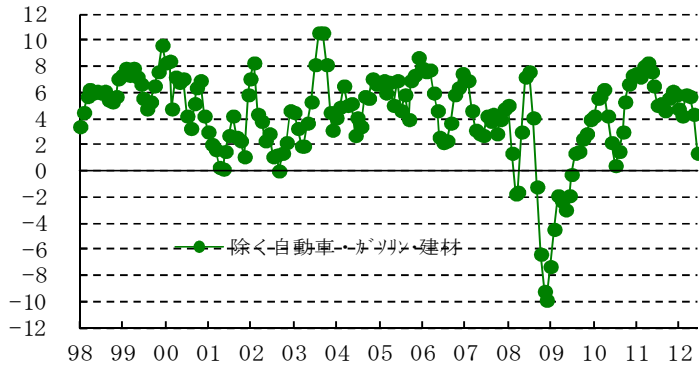
*1:耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上の合計。

*2:非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。

コア小売売上高は3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率+1.4%と大幅減速

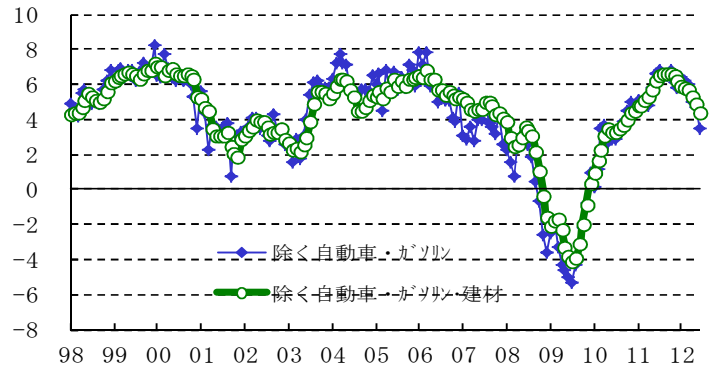
小売売上高のモメンタム（3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率）では、変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は▲1.4%（前月+3.9%）と失速したが、ガソリン価格下落の影響を受けている。この影響を除いた小売売上高の基調を示すコア小売売上高（自動車・ガソリン・建材を除く小売・飲食サービス売上高）をみると、+1.4%（前月+4.3%）と大幅に鈍化しており、小売売上高の拡大モメンタムは弱まっている。給与所得の増加、借入環境の改善にもかかわらず、消費者マインドの悪化などを背景に、小売売上は勢いを急激に弱めている。

（図表）米国：小売・飲食サービス売上高
（3ヵ月移動平均、3ヵ月前対比年率）



（出所）米商務省

小売・飲食サービス売上高
（3ヵ月移動平均、前年同月比）



（出所）米商務省

4－6月期の実質個人消費は前期比年率+1.3%に減速した公算

4－6月期のコア小売売上高は、前期比年率+1.4%と1－3月期の同+5.8%から減速した。さらに、4－6月期の自動車販売台数は前期比年率▲11.7%（1－3月期同+35.3%）と減少に転じている。これらを勘案すると、実質個人消費は4－6月期に前期比年率+1.3%程度（1－3月期同+2.5%）に減速した公算が大きい。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。